



# 54 文化・生涯学習・スポーツの振興



## (1) 区民の文化芸術・生涯学習活動を支援する

### ●文化芸術・生涯学習施策の推進

『ビジョン』の分野別計画である「みどりの風吹くまちにあ・そ・ぶ～練馬区学びと文化の推進プラン～（27年6月策定）」に基づき、区の魅力的な文化の掘り起こしや一流の音楽家・芸術家などによる本格イベントの開催など、文化芸術および生涯学習施策のさまざまな取組を進めている。

### ●文化芸術の振興に関する事業

身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、「絵画展示」と「野外彫刻設置」の2つの事業を行っている。

また、地域の魅力を高めるため、区ならではの文化芸術事業を実施している。

- ・真夏の音楽会 vol.2 大谷康子と楽しむ音楽の旅～アメリカ
- ・こどもアートアドベンチャー
- ・みどりの風 練馬新能
- ・ねりまランタンフェスティバル～星降る夜の光のハーベスト～
- ・世界都市農業サミット記念コンサート World JAZZ
- ・Nerima ユニバーサルコンサート

### ●公益財団法人練馬区文化振興協会

豊かな区民文化の創造と多様な文化の発展に寄与することを目的に、昭和57年9月に財団法人として設立した。その後、24年4月に公益財団法人に移行し、28年度から、日本を代表するヴァイオリニストの大谷康子氏を理事長に迎えた。

石神井公園ふるさと文化館、美術館、練馬文化センターおよび大泉学園ホールの指定管理者として、魅力ある文化芸術の発信に努めている。

#### 1 区民文化の向上および振興のための事業の実施

##### (1) 地域活動事業（6事業）

- ① アトリウムミニステージ
- ② まちなかコンサート
- ③ 親子で楽しむミュージックキャラバン
- ④ 演奏家等派遣事業
- ⑤ 演奏家等あっせん事業
- ⑥ 小学校狂言師派遣事業

##### (2) 練馬区文化振興協会友の会事業

会員数 1,566人（令和元年度末現在）

#### 2 区民の自主的な文化活動の促進に関する事業の実施

##### (1) 区民参加事業（5事業）

- ① 演劇的手法による朗読ワークショップ
- ② みんなであそぼ！森と劇場のサーカスフェスタ
- ③ 区民参加劇「マイライフ・マイステージ」
- ④ ビジネスパーソンのためのクラシック鑑賞入門
- ⑤ ねりパフォ 2020

##### (2) 人材育成活用事業（5事業）

- ① 練馬区演奏家協会コンサート
- ② ワンコイン・コンサート
- ③ 練馬区演奏家協会事務局運営
- ④ 第34回練馬区新人演奏会（金管楽器・ピアノ部門）
- ⑤ 練馬区ジュニア・オーケストラ

##### (3) 連携支援事業（5事業）

- ① 武蔵野音楽大学連携事業
- ② 日本大学芸術学部連携事業
- ③ 練馬交響楽団活動支援事業
- ④ 舞台芸術支援事業
- ⑤ 文化団体活動支援事業

##### (4) 情報発信事業

### ●練馬文化センター

区の文化芸術拠点として区民文化の創造と発展に寄与するため、昭和58年4月に開館した。

令和元年度は指定管理業務として音楽、伝統芸能などの公演事業を実施している。（25事業）

- ・伝統芸能事業（3事業）
- ・音楽事業（9事業）
- ・こどもみらい事業（5事業）
- ・演劇事業（1事業）
- ・映画事業（1事業）
- ・演芸事業（3事業）
- ・その他（3事業）

## 〔練馬文化センターの利用状況〕

令和元年度

	利用件数(件)※	入場者数(人)
大ホール	359	235,633
小ホール	336	122,680
ギャラリー	159	11,884
リハーサル室	1,432	48,593
集会室	747	15,761
計	3,033	434,551

※：延べ利用団体件数

## ●大泉学園ホール（大泉学園ゆめりあホール）

区民文化の創造と発展に寄与するため、大泉学園駅北口再開発ビル「ゆめりあ1」内に、14年2月に開館した。

令和元年度は指定管理業務として音楽、演芸等の公演事業を実施している。(5事業)

- ・音楽事業(1事業)
- ・映画事業(2事業)
- ・演芸事業(2事業)

## 〔大泉学園ホールの利用状況〕

令和元年度

	利用件数(件)※	入場者数(人)
ホール	476	45,923
ギャラリー	80	7,832
計	556	53,755

※：延べ利用団体件数

## ●美術館

区民の美術に関する知識および教養の向上を図り、区民文化の発展に寄与することを目的に、昭和60年10月に開館した。

美術に関する学識経験者等により構成する美術館運営協議会を設置し、幅広い意見を反映した活動を行っている。

美術館の再整備にかかる基本構想の策定に向け、秋元雄史美術館長を委員長とし、地元関係者、学識経験者などで構成される検討委員会を30年5月に設置した。検討委員会では、7回にわたる議論の結果を令和元年11月に提言として取りまとめた。

## 1 展示事業

年間4～6回の企画展や、美術館の所蔵作品によるコレクション展などの展覧会を開催している。また、地域に根差した美術館として、区内在住の美術家協会会員の作品を紹介する「練馬区美術家協会展」や、区民の公募作品による「練馬区民美術展」を開催している。

## 〔企画展〕

令和元年度

展覧会名	会期	観覧者数(人)
くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展	4月28日～6月9日(38日間)	4,414
ふえるコレクション、かわるコレクション	6月14日～7月4日(18日間)	2,370
没後50年 坂本繁二郎展	7月14日～9月16日(56日間)	13,426
エドワード・ゴッリーの優雅な秘密	9月29日～11月24日(47日間)	29,006
没後10年 品川工展 組み合わせのフォルム	11月30日～2月9日(57日間)	10,728
生誕140年記念 背く画家 津田青楓とあゆむ明治・大正・昭和	2月21日～4月12日(39日間)	5,402

## 2 教育普及事業

展覧会関連の企画を中心に各種講座やワークショップを実施している。また、「スクールプログラム」による団体鑑賞や職場体験等の受入れ、小・中学校の教員を対象にした学芸員による作品解説を行う「ティーチャーズデイ」の実施、鑑賞学習教材の貸出しなど、学校との連携を深めている。

## 3 美術作品の収集

区にゆかりのある優れた作品の収集を行うとともに、幅広い視野から近・現代の優れた美術作品を系統的に収集している。令和元年度末の全所蔵数(寄託含む)は7,550点である。

## 4 美術の森緑地

27年3月に美術館の前庭にあたる緑地をリニューアルし、動物彫刻等32体を野外展示している。

## ●石神井公園ふるさと文化館

区の伝統文化を生かし、新たな地域文化を創造するため、観光振興にも寄与する博物館機能を有する施設として、22年3月に開館した。

また、隣接公園内に「旧内田家住宅」(区指定文化財)を移築復元し、建物内部も公開している。

26年4月1日に区立石神井松の風文化公園管理棟内に分室を設置した。

館の事業には区民サポーター100名が携わり、区民と館を結ぶ役割を担う存在として活動している。令和元年度は、分室を含め延べ223,207人が来館した。

## 1 展示事業

## (1) 常設展

「江戸・東京の近郊の暮らし」をテーマに、練馬区の歴史・民俗・伝統文化の特色を伝える展示を行っている。分室では、練馬ゆかりの文化人に関する展示事業と作家・五味康祐氏が愛用したオーディオの展示のほか、期間限定の特集展示などを

行っている。

## (2) 特別展

区の歴史などのほか、幅広い視野からテーマを設定した特別展を令和元年度は2回開催した。

〔特別展〕		令和元年度
展覧会名	会期	観覧者数 (人)
病退散 -江戸の知恵と医術-	9月14日 ～11月4日 (43日間)	4,628
あれもこれも大江戸漫画づくし	1月25日 ～3月15日 (44日間)	4,032

## (3) 企画展

収蔵資料などからテーマを決めた企画展を令和元年度は2回開催した。

〔企画展〕		令和元年度
展覧会名	会期	観覧者数 (人)
練馬の川と文化 ～人々と水とのかかわり～	4/20～6/9 (45日間)	6,024
のぞいてみよう昔の暮らし	6/22～8/12 (45日間)	6,290

## (4) わがまち練馬情報コーナー 1・2

区内の自然・名所や、伝統工芸、ねりコレなどの産業情報、区民の創作作品を展示、紹介している。

## 2 教育普及事業

区の歴史・民俗・伝統文化等に関する講座、季節体験事業、親子でのふれあいを楽しめる催しなどを実施している。分室では、貴重なオーディオを用いて、さまざまなイベントを開催している。

## 3 資料収集事業

区の伝統文化にかかわる資料を幅広く系統的に収集している。

## 4 施設貸出し

区民の文化活動の練習・発表の場として、多目的会議室、企画展示室、ギャラリー、展示用ボックス等の貸出しを行っている。

## ●生涯学習センター

昭和28年に練馬公民館として開館し、平成24年4月に名称を「生涯学習センター」と変更した。29年度には、生涯学習施設を生涯学習センター分館と向山庭園を合わせた3館体制とし、生涯学習センターを区の生涯学習の中核を担う施設として整備した。

地域活動を行う人材の基盤づくり、生涯学習を行う団体への支援、生涯学習に関する情報提供を中心とした事業を行っており、施設は、区民の自主的な活動場所として利用されている。

## 1 地域活動を行う人材の基盤づくり

### (1) 練馬E n (エン) カレッジ

地域・ボランティア活動へのきっかけを目的とした「講演会」や「オープンキャンパス」を実施した。令和2年度から「つながるカレッジねりま」に統合した。

### (2) 武蔵大学特別履修生制度

4月から翌年3月までの1年間、武蔵大学で大学生と一緒に授業を履修する制度である。ボランティア活動の経験者、練馬E nカレッジの受講生もしくは修了生を対象としている。履修料の一部を区と武蔵大学で負担する。令和元年度の履修生は20人だった。

## 2 生涯学習団体等の支援

### (1) 生涯学習団体届出制度

芸術・文化、市民生活、社会教育、子育て、健康、福祉、レクリエーション、スポーツ等さまざまな分野で活動し、一定の要件を満たす団体を生涯学習団体として登録している。

団体の名簿を公開しており、新たな会員獲得による団体の活性化を支援している。令和元年度末現在、1,396団体が区に届出されている。

### (2) 団体活動支援

区民文化祭、サークル文化祭、文化団体舞台発表促進事業等の文化活動団体の発表を支援するほか、趣味と仲間づくり講座「縁ジョイ倶楽部」を実施し、新たな会員募集の支援を行っている。

## 3 生涯学習情報の提供

### (1) 区民発出前講座

さまざまな趣味や特技を持つ区民・団体に、講座の企画内容を登録してもらい、地域の団体・サークルに講師として紹介している。令和元年度末現在で、52講座が登録されている。

### (2) 学びと文化の情報サイト (あ・そ・ぶサイト)

学びに関する団体情報や区内で開催されるさまざまな催し等の最新情報を、区民が活動したいときや学びたいときに、いつでも得られるよう情報提供している。

## 〔各種事業実施状況〕

令和元年度

事業名	実施状況	
練馬En(エン)カレッジ	オープンキャンパス	1回 延べ23人受講
	講演会	1回 188人受講
縁ジョイ倶楽部	13講座 延べ449人受講 講演会1回 練馬Enカレッジと合同	
盆踊り講習会	2回 延べ294人受講	
練馬児童合唱団	在団生 53人 定期演奏会1回 790人入場	
サークル文化祭	舞台発表会	2日 延べ836人入場
	作品展	3日 延べ923人入場
区民文化祭	参加団体 18団体 11,836人参加	
寿大学通信講座	書道・俳句2科目 延べ6,140人受講	
	スクーリング 4回 延べ102人受講	
	書初め展 1回 書道131点 俳句168句 出品	
公開講座	4大学 延べ696人受講	
区民将棋大会	1回 103人参加	
区民囲碁大会	1回 61人参加	

## 〔生涯学習センターの利用状況〕

令和元年度

	利用件数(件)	利用者数(人)
ホール	438	59,370
第一会議室	538	4,330
第二会議室	487	3,927
第一教室	733	14,311
第二教室	597	5,975
第三教室	639	7,306
和室(大)	596	6,293
和室(中)	490	3,910
和室(小)	478	3,585
美術工芸室	482	4,368
視聴覚室	744	14,081
調理実習室	153	1,706
陶芸室	242	775
保育室	329	2,402
合計	6,946	132,339

## 〔生涯学習センター分館の利用状況〕

令和元年度

	利用件数(件)	利用者数(人)
講座室1	217	2,209
講座室2	172	1,474
講座室3	381	3,332
講座室4	327	3,555
講座室5	339	6,081
講座室6	177	1,612
講座室7	143	1,249
講座室8	101	1,692
講座室9	110	1,975
和室	138	1,541
料理室	30	530
工作室	249	2,500
美術室	375	2,658
音楽室1	640	9,343
音楽室2	517	5,304
陶芸室	563	3,648
保育室	61	663
合計	4,540	49,366

注：学習室利用人数…6,745人

## ●向山庭園

庭園を有する和風の施設である。文芸・茶道・華道・囲碁などの活動場所としてだけでなく、会議や学習の会場としても、広く区民に親しまれている。

30年度からは、春に観桜会、秋に観楓会として、コンサート・茶会・いけ花の展示などのイベントを行っている。

管理運営は指定管理者が行い、年末年始を除く通年開園している。

## 〔向山庭園の利用状況〕

令和元年度

	利用件数(件)	利用者数(人)
茶室	599	2,727
和室(第1)	645	3,209
和室(第2)	767	3,666
和室(第3)	538	4,218
多目的室	609	3,315
日本庭園	32	81
庭園見学者	—	54,819
計	3,190	72,035

## ●学習の機会の充実

現代社会のさまざまな人権問題に関する学習を、生涯各期にわたり推進するため、人権講座を開催している。

・地域ふれあい講座(5回実施、49人参加)

## ●学校施設の地域開放推進

学校が地域の核として健全で豊かなコミュニティづ

くりの場となることを目指して、学校施設を開放している。また、児童の健全育成を目的に、区立小学校の校庭を遊び場・スポーツの場として開放している。

### 1 校庭開放

令和元年度末現在、全小学校 65 校の校庭を開放している。令和元年度は、全校で延べ 847,138 人の利用（うち個人利用 541,033 人、団体利用 306,105 人）があった。

### 2 学校図書館開放

地域住民に対して、小学校図書館（室）を開放し、図書の貸出しと読書・学習の場を提供している。

令和元年度末現在、42 校を開放し、蔵書数は 239,792 冊である。令和元年度は延べ 173,019 人の利用があり、34,480 冊を貸し出した。

また、13 年度からは区立図書館資料の検索ができる端末を設置した。令和元年度は、3 校で予約・貸出しを行い 1,521 冊の貸出しがあった。

### 3 教室開放

小学校の余裕教室を地域住民の身近な学習・文化・レクリエーションの場として開放している。

令和元年度は、18 校で 40 施設を開放し、1,865 件、延べ 34,265 人の利用があった。

### 4 学校体育施設の開放

区民がスポーツ活動を身近に行える場として、小・中学校体育施設（体育館・プール）の開放を行っている。

#### 〔利用状況〕

令和元年度

	実施校数	利用者数（延べ）
学校体育館開放	小・中学校 38 校	233,258 人
学校プール開放	小学校 6 校 （夏休み期間）	3,504 人

### 5 学校施設の一般利用

学校応援団や学校開放運営委員会による施設開放のほかに、学校への事前申請に基づき、区民の一般利用に提供している。

提供する施設は、校庭、屋内運動場、教室などのほか、開進第二中学校と大泉中学校に設置しているセミナーハウスがある。

## (2) 読書活動を支援する

〔関連資料：「練馬区教育要覧」練馬区教育委員会〕

#### ●図書館

地域の情報拠点として、図書館資料の収集・貸出しをはじめ、行政情報や地域情報を発信するとともに、

区民の読書活動の普及・啓発のため、さまざまな事業を実施している。

また、利用者が求めている資料を的確に探し出し、調査や学習を手助けするためのレファレンスサービスの充実を図っている。

さらに、25 年 6 月に策定した「練馬区立図書館ビジョン」により、図書館運営の基本理念を「情報拠点として 区民に役立ち 頼りにされ 愛される図書館」とし、サービスの充実を図っている。

#### 1 施設の充実

##### (1) 図書館（12 館）

光が丘、練馬、石神井、平和台、大泉、関町、貫井、稲荷山、小竹、南大泉、春日町、南田中

##### (2) 分室（1 分室）

南大泉図書館分室（こどもと本のひろば）

乳幼児から小学校低学年までの子どもたちと、その保護者を対象としている。

##### (3) 図書館資料受取窓口（6 か所）

高野台、豊玉、石神井公園駅、大泉学園駅、北町、上石神井

予約した資料の受取と返却および利用登録ができる。また、資料の検索・予約ができる（高野台を除く。）。

#### 2 利用の促進

「東京都公立図書館調査（30 年度実績）」によると、図書館資料の個人貸出資料点数は 23 区中第 1 位、個人予約資料点数は 23 区中第 2 位となっている。

資料の閲覧や貸出しのほか、季節や社会情勢に沿ったテーマの資料を展示するなど、利用者の読書の幅が広がるよう工夫している。加えて、普段馴染みのない本にも興味を持ってもらうため、内容が分からないように本を包装した「本の福袋」の貸出しも行っている。

また、読んだ日、タイトルや感想などを自分で記入することにより、読書記録をつけることができる読書ノートを配布している。

このほか、図書館をより身近に感じてもらうため、生活や趣味に関連した講座や講演会、参加型イベント、バリアフリー映画会や音楽会なども開催している。

#### 3 子どもの読書活動の推進

子どもたちが本に親しみ、生涯にわたり読書習慣を身につけることができるよう「第四次練馬区子ども読書活動推進計画」を令和 2 年 3 月に策定した。これにより、発達段階に応じた読書環境を整えるため、さまざまな取組を進めている。

##### (1) 事業

- ・よみきかせ・おはなし会やおたのしみ会
- ・ブックスタート事業
- ・赤ちゃんと保護者が絵本を介して触れ合えるよ

う、絵本を手渡す事業（令和元年度 3,699 セット配付）

- ・本の探検ラリー  
クイズを解きながらさまざまな本と出会い、親しむことができる参加型イベント

#### (2) ボランティアとの連携

読書活動の担い手の育成に努め、関係団体との連携を図っている。

- ・ボランティアへの講習会の実施
- ・ボランティア団体との協働
- ・地域文庫の活動への助成（令和元年度 16 団体 761 冊）

#### 〔子どもの読書活動推進に関する催し実施状況〕 令和元年度

催し物名	実施数	参加者数（人）
よみきかせ・おはなし会	1,012 回	18,464
おたのしみ会	27 回	1,255
子ども読書の日・こども読書週間記念行事	26 回	1,339
本の探検ラリー （小・中学校開催）	延べ 54 校	5,124

## 4 学校支援

小・中学校への団体貸出し、「ブックトーク」（テーマに沿ってさまざまなジャンルから本を紹介する事業）や図書館見学・職場体験の受入れなどを実施し、子どもたちの読書活動を支援している。

また、指定管理者が運営する館（10 館中 6 館）では、学校支援モデル事業として、以下のような支援を行っている。令和元年度は、区内の小・中学校 45 校に対して実施した。

- ・学校図書館に学校図書館支援員を配置
- ・各校の学校図書館運営計画に基づく、学校図書館の図書選定の支援や蔵書管理
- ・調べ学習のための資料の提供

なお、30 年度から 3 か年かけて、学校図書館蔵書管理システムを全区立小・中学校に順次導入している。令和元年度までに小学校 35 校と中学校全校に導入した。

## 5 障害のある人へのサービス

全国の図書館などと連携して点字資料・録音資料の郵送貸出しを行うほか、ボランティアの協力を得て、本や雑誌の録音資料製作や対面朗読サービスを行っている。

また、外出が困難な区内在住の障害者等には、郵送で図書館資料を貸出しするサービスを行っている。

そのほか、乳幼児や障害児向けの布の絵本の製作や、聴覚障害児も楽しめる手話つきおはなし会を行っている。

#### 〔サービスの状況〕

令和元年度

項目	点数等	
製作録音資料数	2,707 点	
対面朗読実施時間	延べ 1,908 時間	
外出困難障害者等資料郵送サービス貸出点数	6,052 点	
布の絵本製作数	24 点	
催し物名	実施数（回）	参加者数（人）
音訳者等養成講習会	12	延べ 194
布の絵本製作講習会	4	延べ 48

## 6 図書館情報システム

貸出し・返却・予約などの業務を行うシステムで、年間約 700 万点の資料貸出しに対応している。

また、資料検索機やパソコン・携帯電話等からの資料検索・予約サービス、Eメールによる予約資料の置き通知サービス等を実施している。

#### 〔予約状況〕

令和元年度

項目	点数等
予約点数（個人）	2,145,622 点
うちインターネットからの予約点数（個人）	1,770,429 点
予約点数に占めるインターネット予約割合	82.5%

## 〔図書館の利用状況等〕

令和元年度

館名	種別	個人利用 登録者数 (人)	団体利用 登録数 (団体)	来館者数 (人)	貸出数			貸出予約数		
					個人貸出 点数 (点)	団体貸出 点数 (点)	協力貸出 点数 (点)	個人貸出 予約数 (点)	団体貸出 予約数 (点)	協力貸出 予約数 (点)
光が丘		43,119	189	681,449	1,116,546	14,460	4,724	284,700	1,206	4,258
練馬		28,649	124	480,386	617,705	11,361	562	197,685	3,354	1,050
石神井		25,562	101	335,926	606,933	12,151	1,206	123,501	3,271	2,150
平和台		17,162	132	264,116	508,415	20,261	531	135,584	8,614	1,008
大泉		18,057	141	287,511	486,421	19,722	703	118,262	15,472	1,221
関町		15,587	145	295,364	493,787	11,968	394	158,309	2,554	733
貫井		22,006	69	717,401	594,578	11,019	560	192,762	5,347	987
稲荷山		6,521	70	111,684	184,328	13,555	243	43,190	1,487	418
小竹		12,093	78	231,016	388,146	9,583	265	131,472	1,496	496
南大泉		10,009	85	213,897	387,521	5,847	200	106,902	3,282	343
南大泉分室		3,483	19	63,696	119,517	1,825	17	25,239	584	28
春日町		13,027	68	374,900	480,423	9,602	296	137,181	3,499	542
南田中		7,601	114	210,666	329,241	10,768	814	79,613	314	548
全館合計		222,876	1,335	4,268,012	6,313,561	152,122	10,515	1,734,400	50,480	13,782
高野台受取窓口		416	—	14,682	34,843	—	—	30,520	—	—
豊玉受取窓口		578	—	25,549	53,028	—	—	44,638	—	—
石神井公園駅受取窓口		2,881	—	82,681	171,103	—	—	146,434	—	—
大泉学園駅受取窓口		3,565	—	65,926	135,797	—	—	114,477	—	—
北町受取窓口		488	—	14,377	32,730	—	—	28,884	—	—
上石神井受取窓口		749	—	22,870	52,403	—	—	46,269	—	—
合計		231,553	1,335	4,494,097	6,793,465	152,122	10,515	2,145,622	50,480	13,782

## 〔図書館の所蔵資料〕

令和元年度末現在

館名	種別	図書資料 (冊)	雑誌 (冊)	視聴覚資料 (組)	視覚障害 者用資料 (点)
光が丘		331,030	14,586	22,098	6,434
練馬		154,275	3,964	11,443	1,172
石神井		210,082	2,936	7,914	—
平和台		148,683	4,387	7,716	—
大泉		221,051	3,636	8,727	—
関町		140,865	5,750	6,742	—
貫井		135,671	4,278	7,718	—
稲荷山		89,137	3,384	4,861	—
小竹		85,500	2,354	8,105	—
南大泉		72,448	2,084	5,193	—
南大泉分室		25,812	216	—	—
春日町		116,783	2,947	9,718	—
南田中		107,958	2,481	6,155	—
合計		1,839,295	53,003	106,390	7,606

## (3) 文化財を保存・活用・継承する

## ●文化財保護の推進

区には、郷土の歴史や自然を伝える有形、無形の文化財が多数ある。

文化財を守るためには、区民一人ひとりの理解と認識を高めることが必要である。区は、かけがえのない文化財を保護・保存するとともに区民に紹介し、文化財に対する理解と認識の向上に努めている。

## ●文化財の指定・登録

昭和61年3月に制定された「練馬区文化財保護条例」に基づき、同年12月に学識経験者で構成された練馬区文化財保護審議会を設置している。

区指定・登録文化財は、区が事前調査を行い、文化財保護審議会の答申に基づき、所有者の同意を得て指定・登録される。令和元年度は新規の指定が1件、登録および指定が1件であった。

(区内の指定・登録文化財については、巻末資料の224～225ページを参照)



〔令和元年度に指定された  
永享八年の夜念仏板碑〕



〔令和元年度に登録および指定された旧見留家納屋〕

## ●文化財保護のための主な事業

### 1 埋蔵文化財の調査・保存・活用

開発行為により、埋蔵文化財（遺跡等）の破壊の危険があることから、区では、遺跡等の範囲の確認を行うとともに、その保護・保存に努めている。遺跡消滅の恐れがある場合は、発掘調査等を実施し、記録保存の措置をとっている。

令和元年度は、遺跡地で工事を行う届出が 80 件、通知が 4 件あり、遺跡の有無を確認するための試掘等が 83 件、発掘調査が 4 件あった。

出土品の一部は、生涯学習センター分館などに展示している。

### 2 東京文化財ウィーク参加事業

「東京文化財ウィーク」は、都の呼びかけによる、国・都指定文化財の公開を促進する期間である。令和元年度は 10 月 26 日から 11 月 4 日までの 10 日間を中心に、つぎの企画事業を行った。

- ・三宝寺池沼沢植物群落の魅力

(10 月 29 日、11 月 6 日 72 人参加)

また、石神井公園ふるさと文化館で、つぎの企画事業を行った。

- ・石神井城跡発掘パネル展

(10 月 26 日から 11 月 4 日)

- ・特別公開「小野蘭山墓誌」

(9 月 14 日から 11 月 4 日)

### 3 刊行物の発行

令和元年度は、つぎの刊行物を発行した。

- ・ねりまの文化財（年 2 回）
- ・埋蔵文化財調査報告 34
- ・練馬区文化財あんない（英語版）
- ・練馬区の遺跡地図

### 4 文化財説明板、道標の設置

身近な文化財に対する区民の理解を深めるため、説明板などの設置を行っている。令和元年度は、修繕 2 件を実施し、総数 176 件となっている。また、道標は 29 か所に設置している。

### 5 文化財防火デー

昭和 24 年 1 月 26 日、法隆寺金堂壁画が焼損したことをきっかけとして、毎年この日を中心に全国的に文化財防火運動が行われている。

区では、各消防署と連携しながら、文化財愛護の PR に努めている。令和元年度は、旧内田家住宅（石神井公園ふるさと文化館）で、一斉放水等の訓練を行い、96 人の参加があった。

### 6 郷土芸能ねりま座公演

区内で継承されている民族芸能の普及・発展のために公演を実施し祭囃子連が 4 団体出演した。

## ●文化財保護推進員

文化財の現況を把握し、区民に文化財保護思想の普及・啓発を図るため、昭和 63 年 2 月に文化財保護推進員制度を設けた。

文化財の所有者をはじめ多くの区民の協力のもとに、文化財の保護・保存を行っている。

## ●尾崎遺跡資料展示室

春日小学校建設の際に調査した「尾崎遺跡」の資料展示室を、昭和 58 年、同小学校内に開設し、出土品約 200 点を展示している。

## (4) スポーツ活動を支援する

### ●スポーツの機会の充実

豊かなみどりの中で誰もがスポーツを楽しめるまちを目指し、スポーツ施設を積極的に整備してきた。

これらの施設では、地域のスポーツ団体をはじめ、区民の活発なスポーツ活動が行われている。こうしたスポーツ団体との協働により、区民体育大会、練馬こぶしハーフマラソンといったイベントや初心者スポーツ教室などを実施している。



## 〔スポーツ事業〕

令和元年度

区 分		内容および参加人数 (人)	
各種大会	区民体育大会	36 種目	21,126
		総合開会式	647
	都民大会	31 種目※ 1	461
	都民生涯スポーツ大会	17 種目	202
	城北地区競技会	5 種目※ 2	230
	少年野球大会	62 チーム	978
	女性スポーツ大会	3 種目	962
	都民スポレクふれあい大会	3 種目	70
	城西ブロックスポーツ交流大会	5 種目	298
東京都魚釣選手権大会	フナ釣、ハゼ釣	8	
野外活動	区民歩行会	5月26日実施 秩父	16
		10月27日 箱根	中止
	わんぱくキャンプ	7月26日から28日 武石栗栗キャンプ場	36
	初心者スポーツ教室	31 種目 73 教室	4,103
	夏休み水泳教室	3 校	195
	少年少女スポーツふれあいひろば	2月15日実施	202
	体育の日記念行事	10月14日実施 総合体育館ほか7会場	26,497
	ねりま光が丘ロードレース	11月10日実施	1,910

※ 1：スキーは中止

※ 2：卓球は中止

## ●地域スポーツ指導者の育成

スポーツ実施率を更に高めるため、多様なスポーツへの要望に応じられるよう、質の高い指導者の育成と確保に努めている。

## 1 スポーツ推進委員

事業実施に係る連絡調整や実技指導、その他スポーツに関する指導および助言を行うことを目的に、令和2年4月1日現在、29人のスポーツ推進委員を委嘱している。

主な活動として、区民歩行会や小学生を対象としたわんぱくキャンプなど、地域に向けて、さまざまなイベントを企画・実施している。また、近年では、区内スポーツ関係団体が連携・協力して実施するスポーツイベントの連絡調整および運営や、障害者スポーツの普及・紹介も行っている。

## 2 スポーツリーダー養成講習会

スポーツ指導者は、専門知識や経験に基づく高い指導能力が求められる。

区では、スポーツリーダー養成講習会を開き、修了者に対して認定を行っている。令和元年度末現在、677人が認定を受けている。

## ●総合型地域スポーツクラブの育成

29年3月に策定された、国の第2期「スポーツ基本計画」では、「総合型地域スポーツクラブ（区の略称SSC）」の育成を重点施策としている。

総合型地域スポーツクラブ（SSC）は、

- ・地域の人々が自主的に会費で運営する
- ・クラブの活動拠点となる施設を持っている
- ・複数種目の活動が楽しめる
- ・子どもから高齢者まで幅広い年齢層が交流できる
- ・クラブが主催するスポーツ事業が地域に提供されるなどの特徴とした、地域スポーツクラブづくりを目指している。

現在、7か所の区立体育館を活動拠点とし、会員制による自立した運営を行っている。

## 〔総合型地域スポーツクラブ（SSC）〕

令和元年度

クラブ名 (通称名)	設立年月日	主催・共催 事業参加者数 (人)
NPO法人SSC谷原アルファ (SSC谷原)	14年8月24日	20,148
NPO法人スポーツコミュニティ桜 (SSC桜台)	14年9月5日	7,103
NPO法人スポーツクラブホワイトエ 上石神井 (SSC上石神井)	14年12月17日	16,857
NPO法人総合型地域スポーツ クラブ平和台 (SSC平和台)	14年10月4日	30,854
NPO法人光が丘総合型地域 スポーツ・レクリエーションクラブ (SSC光が丘)	14年9月10日	9,270
NPO法人コミュニティネットSSC 大泉 (SSC大泉)	14年8月13日	131,441
NPO法人豊玉・中村地域スポーツクラブ クラブプラッツ (SSC豊玉・中村)	21年2月21日	25,004

## ●スポーツ施設の整備

区民のスポーツ活動参加を促進するために、区ではスポーツ施設の整備を図り、活動の場の確保を進めている。

令和元年度は、大泉さくら運動公園に庭球場を整備したほか、大泉学園町希望が丘公園の多目的運動場に照明設備等の設置工事を行った。

令和元年度末現在、区のスポーツ施設は、体育館7館、プール7か所、成人野球場5面、少年野球場6面、庭球場26面、多目的運動場6面、競技場1面、多目的広場4か所、スポーツ広場1か所である。

## 〔体育館の利用状況〕

(単位：人) 令和元年度

施設名 区分	総合体育館 (※)	桜台体育館	上石神井体育館 (※)	平和台体育館 (※)	大泉学園町 体育館 (※)	光が丘体育館 (※)	中村南スポーツ 交流センター (※)
個人利用	37,263	9,893	55,637	56,641	46,763	39,089	38,091
登録団体利用	45,317	24,992	26,944	21,928	17,970	19,991	18,323
連盟・SSC	31,627	3,207	5,714	22,641	17,552	38,721	19,744
大会・事業等	17,994	5,255	5,153	5,395	3,505	39,723	1,561
自主事業	—	—	6,842	3,755	3,137	11,512	31,450
健康体力相談等	—	—	—	—	—	93	—
トレーニング室	39,217	—	41,236	30,909	37,918	74,621	62,041
合計	171,418	43,347	141,526	141,269	126,845	223,750	171,210

注：①トレーニング室には説明会参加者を含む。

②光が丘体育館の個人利用には屋内ランニングコース利用者を含む。

※：トレーニング室は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため令和2年3月4日から3月31日まで休場

※：総合体育館の競技場は、空調設置工事のため令和元年7月1日から7月31日まで休場

## 〔プールの利用状況〕

(単位：人) 令和元年度

施設名 区分	上石神井体育館 温水プール (※)	平和台体育館 温水プール (※)	大泉学園町 体育館温水 プール (※)	光が丘体育館 温水プール (※)	中村南スポーツ 交流センター 温水プール(※)	三原台 温水プール (※)	石神井プール
個人利用	73,444	48,594	57,000	112,324	127,966	68,689	39,162
登録団体利用	8,280	1,114	6,815	8,413	5,148	14,796	—
連盟・SSC	1,860	2,849	9,056	2,310	16,373	4,991	—
大会・事業等	2,830	218	768	4,813	2,176	754	—
自主事業	2,253	2,234	—	2,869	6,563	3,535	—
障害者専用コース	1,066	450	806	1,094	1,077	572	—
合計	89,733	55,459	74,445	131,823	159,303	93,337	39,162

※：平和台体育館温水プールは改修工事のため令和元年10月1日から2年3月31日まで休場

※：温水プールは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため令和2年3月5日から3月31日まで休場

## 〔屋外施設の利用状況〕

令和元年度

区分	施設名(面)	利用数(人)
庭球場	豊玉中公園庭球場	3 22,843
	びくに公園庭球場	2 5,034
	土支田庭球場	7 38,958
	夏の雲公園庭球場	4 43,930
	大泉学園町希望が丘公園運動場(庭球場)	3 25,103
	石神井松の風文化公園(庭球場)	7 47,827
成人野球場	学田公園野球場	1 10,678
	北大泉野球場	2 14,093
	東台野球場	2 16,404
少年野球場	荒川河川敷野球場(硬式少年野球)	3 22,467
	練馬総合運動場少年野球場	2 23,164
	大泉学園少年野球場	1 7,129
運動場等	練馬総合運動場公園(陸上競技場・多目的広場)	74,971
	大泉運動場	57,239
	大泉さくら運動公園運動場(多目的運動場)	92,749
	大泉学園町希望が丘公園運動場(多目的運動場)(※)	1,386
	石神井松の風文化公園(多目的広場)	36,712
	びくに公園多目的広場	17,861
	総合体育館東側多目的広場	791

※：大泉学園町希望が丘公園運動場(多目的運動場)は改修工事のため令和元年5月7日から2年7月12日まで休場

## ●練馬こぶしハーフマラソン

区民の健康・体力の更なる増進と地域スポーツの振興、練馬の魅力の発信を目的として、26年度から毎年実施している。

満開のこぶしや桜を楽しみながら幹線道路を走行できるコースや、沿道からの途切れない応援が大会の特色であり、参加者から高い評価を得ている。

令和元年度も令和2年3月22日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止した。



〔練馬こぶしハーフマラソン ロゴ〕  
区の木である「こぶし」の花がデザインされている。

## 〔開催状況〕

## ハーフマラソン種目

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
開催日	27.3.29	28.3.27	29.3.26	30.3.25	31.3.24
開催時天気	晴	晴	雨	晴	晴
エントリー数	5,248人	5,240人	5,239人	5,423人	5,433人
当日出走者数	4,674人	4,602人	4,021人	4,807人	4,764人
完走者数(完走率)	4,464人(95.5%)	4,478人(97.3%)	3,899人(97.0%)	4,510人(93.8%)	4,512人(94.7%)

## マイルラン種目

		第3回	第4回	第5回
エントリー数	中学生の部	150人	100人	58人
	小学生とペアの部	330組	296組	342組
当日出走者数	中学生の部	100人	83人	53人
	小学生とペアの部	約200組	269組	303組
			538人	606人

注：第3回は試行実施

## ●東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(東京2020大会)は、当初予定から延期となり、令和3年7～9月に開催される。現在、競技会場、競技種目の詳細スケジュールや聖火リレー等については、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(組織委員会)で調整中である。

区では、東京2020大会に向けて、組織委員会や都と連携を図るとともに、区民や地域活動団体と協働で機運醸成に取り組む。

- (1) 区ゆかりのオリンピック、パラリンピアン等の協力を得ながら、区民が一流のプレーを見たり、選手の話や聴く機会を設けるとともに、各競技種目の紹介や体験会を開催する。
- (2) イベントなどにおいて東京2020大会に向けた情報を発信するとともに、節目に合わせて機運醸成事業を実施する。
- (3) 「練馬区発100万人のハンドスタンプアートプロジェクト」で集めたハンドスタンプ(手形)で、大きなアートを制作する。アート作品は、アスリートや東京2020大会の応援に活用していく。
- (4) デンマーク王国とエクアドル共和国のホストタウンとして、両国選手団を応援するとともに、区民と大会参加者との交流を図る。